

川崎町地震防災マップ

②地域の危険度マップ（最大の震度の場合）

●この地域の危険度マップは、①揺れやすさマップ（最大の震度の場合）で想定した震度となった場合、木造の建物が受ける被害（全壊もしくは半壊）の可能性を想定被害率に応じて7段階ランクで表したものです。最大の震度とは、次の4つの想定地震のうち各地点でそれぞれ最大となる震度のことです。

海溝型の地震として：宮城県沖地震（単独型）と（連動型）

内陸の活断層による地震として：長町-利府断層による地震

全国どこでも起こりうる直下の地震（マグニチュード 6.9）

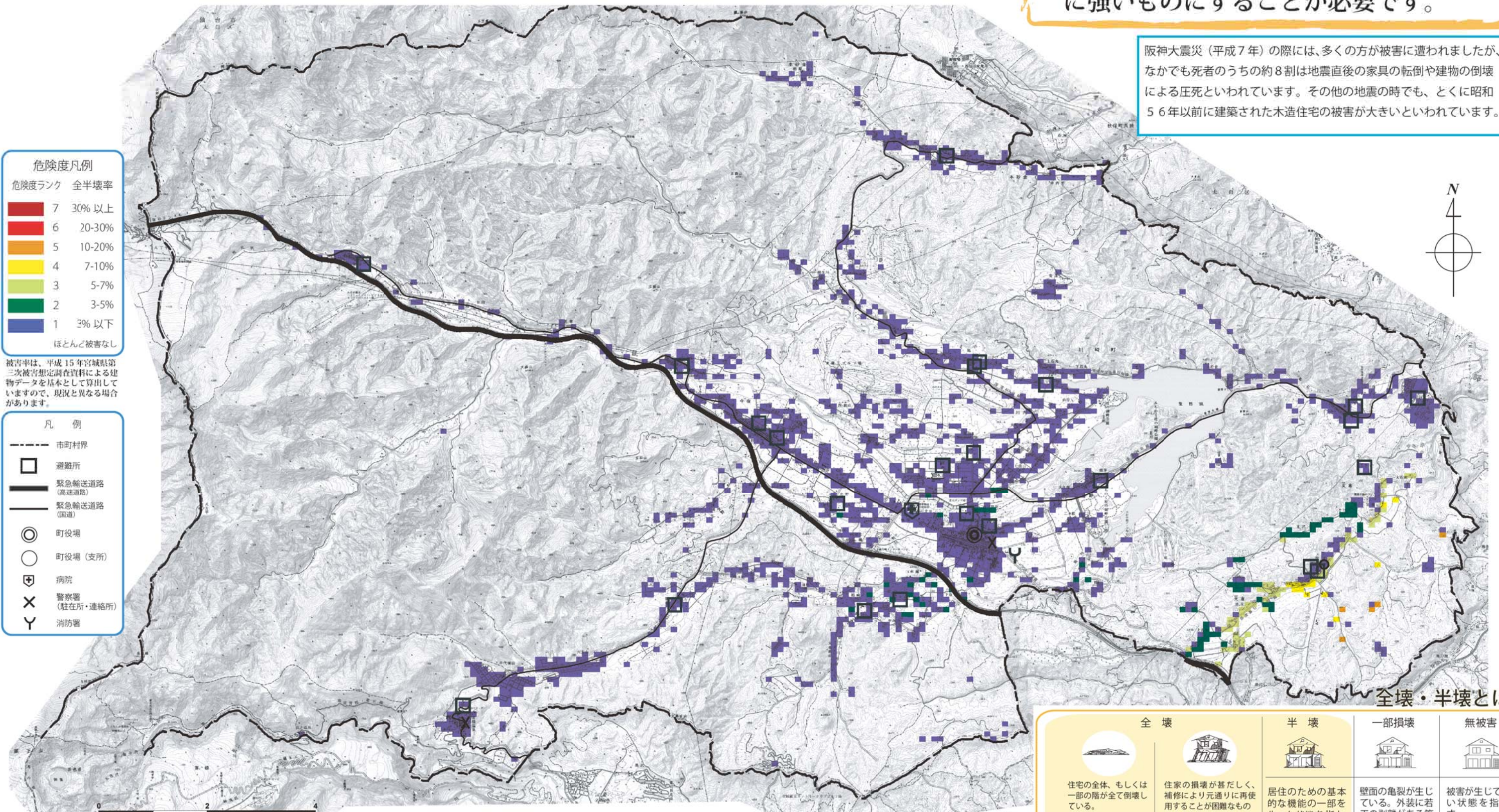
●このマップは、木造建物についての想定を示していますが、全域が同時にこのような被害に見舞われることを表現しているものではありません。

●このマップは、皆様が日頃から地震の災害に備えに活用していただくためのマップです。

また、住宅などの耐震診断や耐震改修、または、リフォームなどの改築のときにも参考にしてください。

地震の際に建物の被害によって人命が失われたり、ケガをしたりする人を少しでも少なくするためには、まず建物を地震に強いものにすることが必要です。

阪神大震災（平成7年）の際には、多くの方が被害に遭われましたが、なかでも死者のうちの約8割は地震直後の家具の転倒や建物の倒壊による圧死といわれています。その他の地震の時でも、とくに昭和56年以前に建築された木造住宅の被害が大きいといわれています。



危険度凡例

| 危険度ランク | 全半壊率 |
|--------|--------|
| 7 | 30%以上 |
| 6 | 20-30% |
| 5 | 10-20% |
| 4 | 7-10% |
| 3 | 5-7% |
| 2 | 3-5% |
| 1 | 3%以下 |

ほとんど被害なし

被害率は、平成15年宮城県第三次被害想定調査資料による建物データを基本として算出していますので、現況と異なる場合があります。

凡例

| |
|--------------|
| 市町村界 |
| 避難所 |
| 緊急輸送道路(高速道路) |
| 緊急輸送道路(国道) |
| 町役場 |
| 町役場(支所) |
| 病院 |
| 警察署(駐在所・連絡所) |
| 消防署 |

全壊・半壊とは？

| 全壊 | 半壊 | 一部損壊 | 無被害 |
|--------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| | | | |
| 住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。 | 住宅の損壊が甚だしく、補修により通りに再使用することが困難なもの | 居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します。 | 被害が生じていない状態を指します。 |
| 居住のための基本的な機能を失った状態を指します。 | 居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します。 | 壁面の亀裂が生じている。外装に若干の剥離がある等の状態を指します。 | |

このマップの図例には、川崎町管内図（平成18年度作成）を利用しています。

このマップについてのお問合せ先： 川崎町建設水道課 TEL 84-2111(代表)